

「海辺村の未来は？」 プログラムの活用について

① プログラムのねらい

- (1) 原発事故の事実を学ぶ。
- (2) 原発事故以後の未来について考える。
- (3) 原発事故と被災者のことを忘れない。

② 対象者

中学生～成人

③ プログラムの特徴

- (1) 原発事故の被害を受けた架空の「海辺村」を舞台としたシミュレーション教材です。
- (2) 4部構成のプログラムです。4部を連続して行くと効果が上がりますが、各1部を独立して行うことも可能です。
- (3) グループを編成して、活発に対話しながら行うプログラムです。

④ プログラムのねらい

- (1) 紙芝居「海辺村に原発がやってきた！」
海辺村が原発を受け入れた経緯をたどり、村民と都市住民の原発に対する意識の差を比べましょう。
- (2) ファクトシート「海辺村に建った原発とは」
原発に関する客観的な知識を整理し、立場によって見方・考え方が違うことを理解しましょう。
- (3) スライド資料「福島第1原発の事故とは」
原発事故の実態を知り、それが人・社会・自然に与えた影響について考えましょう。
- (4) ロールプレイ「海辺村の未来を考えよう」
原発事故の影響を受けた海辺村は、今後どのような未来を構想すればよいのでしょうか。当事者の視点をかりて、テーマに沿って話し合ってみましょう。

⑤ 項目の説明

【Question】 プログラムに対応した質問

【Discussion】 参加者で話し合うこと

【Research】 参加者が自主的に調べること(学校教育を想定)

⑥ プログラム活用上の注意

- (1) シミュレーション教材は、できごとを単純化して作成されるものです。したがって、使い方によっては、参加者に偏った見方や考え方を植え付けかねません。十分に準備してから活用してください。
- (2) このプログラムは、たくさんの人に活用されながら改善されていくものです。よりよいプログラムになるように、建設的なご意見とご批判をお待ちしています。
- (3) このプログラムは、おもに大都市圏に住む人を対象としています。それ以外の地域で実施する場合は、その実態を踏まえて、内容や進め方を柔軟に変えて活用してください。
- (4) このプログラムは、教育現場での活用を前提に作成したものです。それ以外での使用と転載はお断りします。